

科目	情報処理 (Information Processing)		
担当教員	赤松 浩		
対象学年等	電気工学科・1年・後期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	-	JABEE基準1(1) -
授業の概要と方針	C言語プログラミングの基礎を講義する。プログラム作成からコンパイル作業を経て実行ファイルの実行を行う一連の作業を学んだのち、表示、変数、分岐の構文を学ぶ。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	C言語プログラムの構成が説明できる。		プログラムに必要な記述が説明できるか実習試験，中間試験で評価する。
2	C言語プログラムをコンパイルし，デバッグ作業が行える。		プログラムをコンパイルし，エラー項目をデバッグできるかを実習試験，中間試験で評価する。
3	画面に文字列を表示できる。		printf関数によって意図した文字列を画面に表示できるかを実習試験，中間試験で評価する。
4	四則演算がプログラムできる。		四則演算を使ったプログラムが説明できるかを実習試験，中間試験で評価する。
5	変数を使った値の代入，演算が行える。		変数の型を理解し，代入や演算が行えるかを実習試験，中間試験で評価する。
6	変数にキーボードから値を代入できる。		scanf関数によってキーボードから変数に値を代入できるかを実習試験，中間試験で評価する。
7	if文を使ったプログラムの分岐が行える。		if文を使った分岐のプログラムが説明できるかを実習試験，定期試験で評価する。
8	switch文を使ったプログラムの分岐が行える。		switch文を使った分岐のプログラムが作成でき，if文とswitch文の使い分けが出来るかを実習試験，定期試験で評価する。
9			
10			
総合評価	成績は，試験85%，レポート15%として評価する。		
テキスト	「C言語プログラミングレッスン 入門編」：結城浩 (SOFTBANK)		
参考書	「C言語入門」：Les Hancockほか (アスキー出版) 「プログラミングの基礎」：梅村恭司ほか (朝倉書店) 「学生のためのC」：内山章夫 (東京電機大学出版)		
関連科目	E1「情報基礎」，E2「情報処理」		
履修上の注意事項	E1「情報基礎」において，コンピュータの基礎操作を理解しておくこと．E2「情報処理」は本教科の続きである。		

